

宮っ子のいえ通信①

創刊号 平成 24 年 9 月 1 日発行

『宮っ子のいえ推進事業』の試行を開始しました！

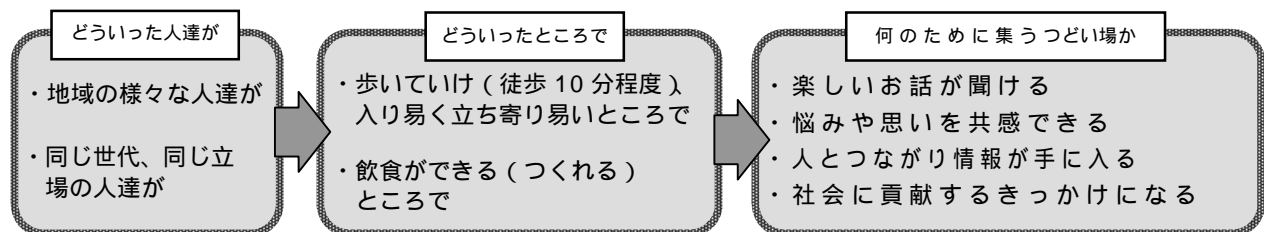
西宮市 住宅政策課では、市民が空き家やご自宅の空きスペースを活用した「地域のつどい場」や「地域とつながるシェアハウス」づくりを支援する『宮っ子のいえ推進事業』の検討をはじめています。

住み慣れた地域・まちで誰もがいきいきと暮らすことができたならそれは素晴らしいことではないでしょうか。特に高齢者が人生の最後まで、自分らしく過ごしていくためには、周りの人とのつながりや生きがいを実感することが大切です。住宅政策課では、そういった人とのつながりや生きがいを育むことができる場所として「地域のつどい場」や「地域と交流する仕組みを持つシェア住居」に注目し、平成 23 年度より市民の皆さんと共に、空き家やご自宅の空きスペースを活用して「つどい場」や「シェア住居」を実現する方法を考えてきました。

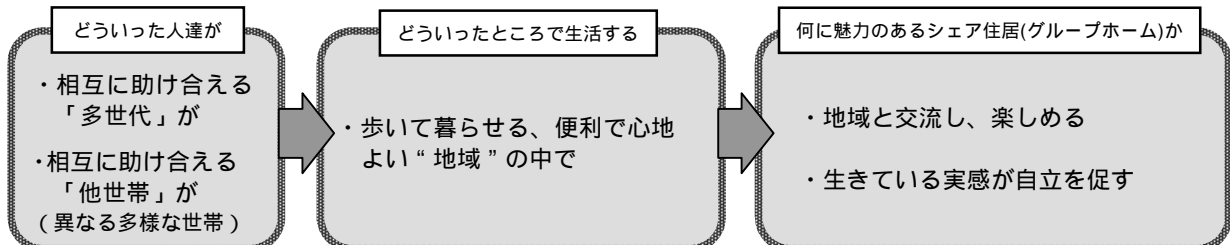
この『宮っ子のいえ通信』では地域とつながる仕組みを持った住まいのことを『宮っ子のいえ』と呼び、市内の『宮っ子のいえ』をめぐる動きを市民のみなさんにお知らせします。

宮っ子のいえとは、こんな役割を持つ住まいであると考えています。

つどい場



シェア住居



現在の取り組み状況

「宮っ子のいえ」に関心のある市民から相談を受け、市役所職員等が「地域へのお知らせ方法」や「場の作り方」などを一緒に考えています。これまでに、2 件の「つどい場」が開設しました。今後はさらに支援体制を充実させることを目指しています。

■ 地域の様々な「宮っ子のいえ」を紹介します。

▲ 高齢者のつどい場 「いっぷく」

生瀬に住んで40年、私達はいつの間にか高齢者の仲間入りをしました。生瀬地区の高齢化率も33%を超えています。会話をする人も少なくなり、病気などの不安を抱えながら、日々生活しているのが現状です。

こんな中で、せめてご近所の高齢者で集い、自分の思いや悩みを話し合い、時には習い事、食生活、健康の取り組みを披露し、また、生瀬の草花や木々、地区の伝統行事に触れて、何よりも「元気」に生活できたらと思い、つどい場「いっぷく」を開設しました。

普段の散歩道で「一服」してお茶をいただきながら「元気」を交流し、挨拶が交わせ、健康で安全な暮らしをすることが願いです。



▲ 多世代のつどい場 「ふかたに」

平成24年7月11日に「ふかたに」がオープンしました。「ふかたに」は西宮市深谷町の地域の方々が集う場として、月1回開催していきます。スタッフには20歳代の若い世代の方々も参加して、多世代に対応できる体制になっています。

オープン当日は開始直前の強い雨にもかかわらず、6名の方が参加され、スタッフ4名、ボランティア1名、オブザーバー2名を加えた計13名の方々が一つのテーブルを囲んでスタートしました。参加者の自己紹介では、予定外の素晴らしい趣味を披露していただき、場が大いに盛り上がりました。ボランティアを引き受けていただいた方からの「お茶菓子」と「お点前」を味わいながら、楽しく談笑のひと時を過ごしました。順調なスタートが切れたことで、スタッフ一同胸をなでおろしています。



★ イベントのお知らせ

★ 西宮まちづくり塾 「ご近所の『新しいつながり』を考える」

第18回の西宮まちづくり塾は、「モノ、知識、労力等をシェアすることで豊かなつながりが生まれる」ことを提唱する三浦展氏のお話から、「地域のつどい場」、「多世代シェア住居」を題材に、ご近所の「新しいつながり」づくりについて考えます。

【日時】 平成24年11月25日(日) pm2:00 ~ pm4:30

【場所】 甲南大学西宮キャンパス (定員: 100名) 応募多数の場合は抽選

【講師】 三浦 展 (カルチャースタディーズ研究所主宰、「下流社会」著者)
アサダ ワタル (日常編集家、「住み開き」家から始めるコミュニティ著者)
丸尾 多重子 (つどい場さくらちゃん 主宰)
田中 美貴 (ゴジカラ村役場株式会社 職員)

発行

西宮市役所 住宅政策課 健康福祉計画課 西宮市社会福祉協議会 地域福祉課
問い合わせ先 (住宅政策課) TEL: 0798-35-3778 E-mail: jyusei@nishi.or.jp